

あなたも読みください  
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3400円  
日曜版1カ月 800円

# 手良民報

生電話 78-0943  
相談はお気軽に  
毎月赤旗読者に配達  
民報のみは月100円)  
発行 日本共産党・手良支部

## 元気に23名が出席

### 手良地区成人式

手良地区の成人式は例年のとおり8月14日に手良公民館で行われました。手良は伊那市の中では一番早く行われます。

今年の成人該当者は33名で、中坪10名、野口18名、下手良1名、ハツ手4名です。当日は23名が出席しました。成人式では区長会長、地元市議員、教育委員長代理より祝辞があり、小学校で担任をした先生2人より励ましの言葉がありました。

成人を代表して野口原町の蟹沢和弥さんより感謝と地域のためにがんばりたいとの決意のあいさつがありました。今回は急遽市長よりDVD

手良地区の成人式は例年のとおり8月14日に手良公民館で行われました。手良は伊那市の中では一番早く行われます。その後の成人を祝つ集いは成人者より元気に自己紹介、昔の話や近況報告などがありました。こやかなつちに過ぎりました。



成人者の万歳

## 社会保険制度改革国民会議の最終報告

ひろみ通信 172

8月5日に安倍政権は、社会保険制度改革国民会議の最終報告をまとめた。今後これに基づいて法制化すると言いますが、その中身は社会保障の切り捨てばかりです。

介護保険では「要支援1・2」の方を介護保険制度からははずし、市町村の責任で行うとしています。国や県の負担が無くなれば、市町村の財政状況でサービスの切り捨てが起きます。はずれる人は4分の1を占めます。

介護保険の利用料も1割負担を所得によって2割負担にしようとしています。特別養護老人ホームの入所者も「中重度者に重点化」します。そのために「軽度

者の利用料を増やす」としています。

特養老人ホームの利用料の軽減も収入だけでなく資産があれば軽減対象から外します。

「介護者がいなくて入所」とか「軽度でも認知症により判断力が低下して一人暮らしは困難」などのケースもありません。老々介護で介護者が倒れるなどのケースも、介護難民がさらに増えるのではないのでしょうか。

医療の分野では70歳から74歳の医療費を1割負担から2割負担に増やします。今でも、70歳前の方から「医療費が払えず手術が受けられない」という相談があります。70歳になればひとまず安心がなくなり、国民健康保険の県単位の運営も2017年度からの実施をねらっています。今でも低所得者が多いために運営が悪化している国保を県単位のすれば、国保料は

## 夏休みを元気に ラジオ体操開幕式・交通安全教室

ラジオ体操開幕式は小学校が夏休みに入った、今日も猛暑になるであろうと思われる7月27日の午前6時から小学校校庭で行われ多くの参加者がありました。開会式では公民館長より「起きる時間と寝る時間を決めて毎日の生活のリズムをくずさず」「小学校長からは「ななにか一つ決めてやる。一つつくえに向かう時間を作る。ややくそくを守る。すすんで家の手伝い。みーみも心も鍛える。ラジオ体操を通して



交通安全教室

いい夏休みに」とそれぞれあいさつがありました。体育指導員の指導により全員で元気にラジオ体操を行いました。その後は交通安全協会による交通安全教室がありました。役員による自転車の点検、乗り方の説明があり、グラウンドに作られたSの字、8の字コースを試走しました。子ども達は花火などの参加賞をもらって喜んで帰りました。

## 島るり子さん陶芸展

陶展「島るり子のおいしい器」が8月8日から15日まで通り町の「ワイルドツリー」2階スペースで行われ手良からも多くの観覧者がありました。島さんは手良に二十年在住の、鳥さの穴窯などで創作活動を行っている陶芸家です。個展は自宅の陶芸工房「草舎」でやったことありましたが、地元市内でやったのは初めてのようです。今回は「ツロウキヤンドル」などを扱っている会場の「ワイルドツリー」のすすめもあり「地球にやさしい」という共通の思いからやるようになったようです。



島るり子陶芸展

土の風合いを生かした日常使いの湯飲み、茶碗や、子鉢、花入れなど約200点が静かに展示されていました。

## 塾のおいで

今年もまた夏休み中の7月30日から8月2日の4日間、朝9時から午後4時まで「夏休みおいで塾」が手良公民館で行われました。

社会教育委員、「食改」関係者、公民館などの皆さんの協力と指導により、昨年からの夏休み中に体験学習や仲間づくりを目的に行うものですが、1年生から6年生までの29人が参加しました。

午前中は夏休み帳の宿題などを公民館長さんの指導、助言を受けながら自主的な学習、午後はおやつ作り、流しそ



おいで塾 おやつ作り

朝の気持ち落ち着けるため、今年は常光寺住職による座禅を20分位取り入れました。夏休みの4日間、子どもたちは楽しく元気に過ごしました。

## とらのさと

今年もまた、手良地区野球愛好者お盆大会が8月14日に手良総合グラウンドで行われた。今年で34回というところであるが、開会式の区長会長のあいさつによれば総合グラウンドができる前から小学校の運動場で行っていたので、それを数えれば60回以上になるだろうとのことである。伝説である。地元市議員のあいさつの中では伊那市ではこのようなことをやっているのは手良だけであり、伊那市でも誇れる活性化の大事な行事とのこと。最近、学生が多いらしいが、郷から離れていて年に一度の帰省に、みなに会えるのも楽しみの一つであるらしい。小中学生も制限はあるが地元のチームに参加でき、年齢を超えた交流もできる。昨年までは手良の体育協会が主催して行ってきたが解散になったので、今年からは早起き野球のグループとナイターソフトボールのグループが交代でやるようである。主催者は準備等大変であるがこの伝統は手良の活性化のためにもこれからも続けていたいただきたいものである。猛暑の下での熱戦の後の懇親会は冷えたビールも美味しく、親睦と交流も深まったことである。(T)



### 「手良誌」編集を振り返って

ところで、手良の歴史の中でも江戸時代の後半へ行くほど、小前(こまえ)といわれた中小自作農が力をつけ村政への発言を強めていきます。

これと並行して家族構成にも変化がありました。例えば八ツ手村の場合18世紀初め頃には一家族十人以上の家が全戸数42戸のうち17戸、中でも最大は39人という大家族がいました。

この中には血縁関係だけでなく、主家に隷属してその労働力となっていたものも含まれていたと思われま

### 生活雑記 113

#### 彼の三回忌

小松利江

8月6日の六道の祭りの早朝、先祖の霊を迎える行事から始まった今年の盆は本当に忙しくて、ゆっくり話もできないまま送り盆の日を迎えてしまった。

一日おいて18日には、夫の三回忌、お墓に迎えにいったり、送って行ったり、落ち着く間もない日々が過ぎてしまった。

此の日の節目をどうするか毎日悩んだり考えたりしていたが、終わってしま

属し独立した家庭をもてなかつた人々が自立し、一家を構えるようになったといふことを物語っています。

その背景には何があったのか。また村芝居や俳句・短歌などの文化活動が盛んになっていくのですが、そういう生活の余裕をもたらしたものは何であったのか。上州の場合養蚕が決め手でしたが、はたして手良、ひいては伊那谷の場合は何であったのか。一つは出稼ぎが盛んなことは手良誌でも触れてありますが、それだけなのか。この問題が残ります。

明治以降長野県の養蚕業は群馬に次いで全国2位になります。手良の場合も江戸時代については養蚕業の始まりやその実態が必ずしも明らかではありません。むろん、手良誌でも明治以降の養蚕については書かれています。

しかし、江戸時代の手良だけでなく上伊那の養蚕の

と台風一過のような又静かな生活が戻ってきた。

今年、祖母の33回忌、母親の17回忌、夫の三回忌と重なり供養する重さがひしひしと身に重くのしかかってくるような大変な心境だった。

今まで家のなかの一大事は、すべて夫に任せて協力という立場でよかったのに、今度は責任という重さに縛られて、ああ疲れてしまっ

歴史は史料的にも乏しいのがこれまでの実情です。今後の研究の課題だと思いま

以上、一見手良とは無関係の研究にまで言及してきましたが、資料の問題に立ち帰ると、古文書だけでなくさまざまな石碑や碑銘、場合によっては墓石まで史料となる場合があります。

手良誌でも信仰に關係した石碑はほとんど網羅されていません。これは山岸委員長や宮原副委員長の熱心な調査研究の賜物として高く評価されなければなりません。

今後このような沢山の史料の保存について市のレベールで文化財審議委員会等を中心に取り組みがなされることを検討すべきだと思います。(北原 明)

ご好評のうちに今回で連載は終了します。今後もこのような貴重な珠玉をお寄せいただくことを期待して筆者に感謝申し上げます。(編集子)

その時には、どうしてほしいか、良く考えて書き残し子供達には大きな負担を掛けないように、この世を去ることができたらなあと思つた。

三回忌という節目を迎えても、33回忌を迎えても、その人の思いはずっと胸の中に行き続けている。今年のお盆は大勢の泊り客で夜な夜な身内と別れた思い出話で過去を懐かしむことができた。

夫の植えた彼岸桜がお墓の入り口に咲いていた。



### 野草教室

手良公民館主催の第3回「野草教室」は、鹿嶺に銘つて8月9日に長谷村の鹿嶺高原で開かれました。

参加者には中高年者が多いので夏休みに入り孫の子守を休めなければならぬのか、何時もより少ない16名でした。

お目当ての「しなの」は途中の蛇紋岩の斜面に紅紫色の花をつけ可憐に咲いていました。

講師の柄山祐希先生は88歳の高齢なお元気で、車中からまた歩きながら目に付く路傍の草や木の名前をあげ説明してくれました。

車で通る地域の歴史を語り、世話を話し、返つて教訓を示唆しました。

また箕輪出身の歌人藤沢古見の歌、北原白秋の「落葉松」、読み語りの長い文章を暗唱しその記憶力には驚かされます。

先生は高原を歩行中、自然に逆らつた開発には何度も嘆かれました。

自然の草木だけでなく、人間や社会や歴史についても少し考えさせられるひとときでした。(T)



野草教室

### とうもろこしを販売しました

手良小学校5年生(20人・担任伊藤幸枝先生)は8月1日にJA手良支所旧生活店舗で総合学習の一環としてとうもろこしを販売しました。

クラス保護者の畑を借り、種子を200粒播き保護者の皆さんの協力により販売に至つたものです。

3年生の時にポップコーンを販売し、その売り上げを震災地の栄村の小学校に寄付しました。昨年などの交流を重ねてきました。

### 鹿嶺高原を訪ねて

また箕輪出身の歌人藤沢古見の歌、北原白秋の「落葉松」、読み語りの長い文章を暗唱しその記憶力には驚かされます。

先生は高原を歩行中、自然に逆らつた開発には何度も嘆かれました。

自然の草木だけでなく、人間や社会や歴史についても少し考えさせられるひとときでした。(T)

### 小学生と交流会

毎年、夏休みの行事として続けられている八ツ手高齢者クラブと小学生の食事が、今年8月8日に行われました。

子どもたちが大好きなマジックと夏野菜のカレーを作つて子供たちを迎えました。

子ども達は自己紹介をし、手良小の校歌などを歌つてくれました。

子ども達も八ツ手全体で17名と聞いて年寄りな昔と比べて子どもも少なさに驚きながらも屋号や両親の名前を聞くと、歓声があがり父ちゃん、母ちゃん顔を想像して楽しいひと時を過ごしました。(小)



とうもろこし販売

### 猛暑の中で執戦

第34回手良地区野球愛好者お盆大会は8月14日に手良総合グラウンドで約100名が参加して行われました。

この大会は長い伝統があり小学校の運動場でのものを数えれば60回以上になるのではといわれています。

昨今までは手良体育協会が主催していましたが解散があり、今年からは早起き野球のブルースとナイターソフボールのブルースが交代でやることになりました。

今年、野口3チーム、下手良2チーム、八ツ手1チーム、中坪1チームの7チームが猛暑の中執戦を繰り広げました。

帰省された学生などの皆さんも参加し年に一度の出陣を懐かしみます。

また高校生・中学生の若い人達も1チーム2人の範囲で参加できます。暑い中でしたが試合も2試合合は4試合は7回まで闘いました。

優勝は下手良A(野口)チームでした。

恒例の直売所  
八ツ手第2集落

中山間地八ツ手第2集落(八ツ手北側地域21戸)では今年もお盆に向けて8月12日の午前7時から、福治屋さん前広場に恒例の直売所を開設しました。

事前に八ツ手全戸(127世帯)に開設のお知らせのチラシを配布しました。

道路端には鮮やかな幟も立てられ、お盆前なので盆用の花や野菜、果物などもあり喜ばれました。

30人以上の利用者がありました。が盆用のしまがや、まこもなどは特に好評でした。

この直売所は、9年前から毎年お盆前に開設しています。

連絡先 高橋 七八〇九四三

中坪公民館で絵手紙教室やっています

春日治子

俳句 ほおずき

ほおずきの色を奏でる虫の声  
井月は酒と俳句にあけくれぬ  
土手焼きの煙に霞む櫻かな  
紅梅の蕾(つぼみ)潤す雲(みぞれ)かな  
福寿草凍て付く風に笑ひある

宮原宗衛

盆野球開会式

盆野球開会式の様子が写っています。

八ツ手直売所

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思ひます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋